

平成27年度

事業報告書

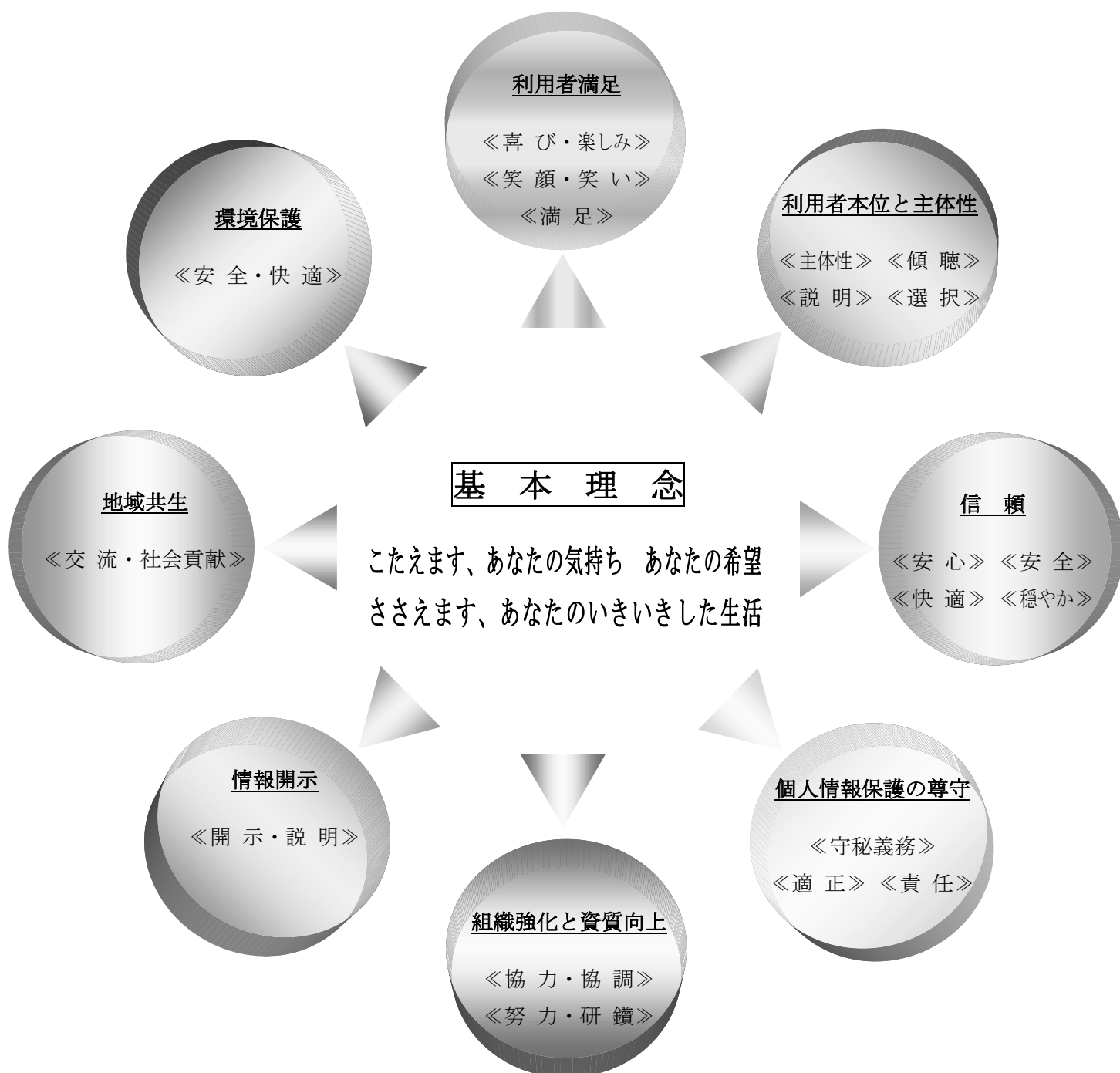
社会福祉法人 札幌厚生会

白石福祉園

基本理念及び基本方針

救護施設 白石福祉園

《私達の基本的な考え方》



施 設 の 概 要

1	施設の名称	白 石 福 祉 園
2	所 在 地	札幌市白石区川北 2272 番地 8
3	施設の種類	生活保護法による救護施設
4	設 置 主 体	社会福祉法人札幌厚生会
5	経 営 主 体	同 上
6	設立年月日	昭和 29 年 12 月 14 日
7	創 立 者	助 川 貞 利
8	理 事 長	上瀬戸 正 則
9	施 設 長	石 井 喜代美
10	入 所 定 員	100 名
11	職 員 構 成	施設長：1 事務員：2 主任生活指導員：1 介護職員：17 看護師：2 栄養士：1 調理員：4 介助員：1 医師(2)嘱託 計 29(2)名
12	移 転 改 築	平成 6 年 3 月 10 日（白石区川北に移築）
13	敷 地 面 積	5, 0 4 3 m ² （札幌市貸与）
14	建 物 面 積	2, 8 8 1. 8 3 m ² （札幌厚生会）
15	施設の沿革	

昭和 29 年 8 月札幌市において、天皇、皇后両陛下を迎えて北海道国民体育大会が開催されたが、この機会に札幌駅及び市内に散在する浮浪者ならびに一時保護者を桑園駅前にある元市営市場事務所を使用、収容したのが始まりである。その後、閉鎖するに当たり、帰住先のない人や他施設への収容替えが不可能な身体的、精神的に障がいがあり、独立して日常生活ができない人が 30 名程おり、この人々のため施設の設置を札幌市と協議し、現在の白石区平和通 5 丁目に市所有地 7,260 m²の無償貸与を受け、共同募金配分、寄付金により 280.5 m²の園舎を建築し事業を開始した。

利用者の激増により、昭和 30 年、32 年、38 年度道費補助により増築、定員 150 名となったが、平成 3 年度法人の利用者調整により定員 100 名となる。

平成 5 年 6 月には、市有地 5,045 m²の無償貸与を受け、永年の計画であった老朽整備による建替が行われ、平成 6 年 3 月 10 日完成（3/21 移転）し現在に至る。

施設機能の強化面においては、「救護施設が取り組む生活困窮者支援の行動指針」に基づき、平成 27 年度までの各種事業の取り組むべき計画の中から、平成 26 年 9 月から利用者 3 名による「居宅生活訓練事業」を実施している。

総 括

はじめに

社会福祉法の改正が審議され、社会福祉法人に求められる責務が大きくなっていきますが、その責務を具体的に担っていくのが各施設でもあり、地域貢献活動として、白石区北郷瑞穂福祉推進委員会活動（高齢者世帯の見守り・訪問活動）と、白石区社会福祉協議会の福祉除雪サービス活動（お年寄りや障がいのある方宅の除雪）を継続して実施しました。

また、救護施設が取り組む生活困窮者支援の行動指針による居宅生活訓練事業等も継続実施すると共に、生活困窮者支援にかかるホームレス支援センターや生活就労支援センターなどの関連機関との協力を進めました。

利用者の状況については、定員割れする中、高齢化による介助を要する場面が多くなり、レクリエーションの実施内容など一部生活の見直しを図りながら、個々の利用者のニーズに対応していくことに努めました。

<重点目標>

1. 社会貢献事業への参加協力

北郷瑞穂福祉推進員活動に関しては、3名の職員が福祉推進員として見守り活動に参加し8名の方を担当しました。途中、職種の変更や異動(退職)により委員の交代はありましたが、引継ぎに留意しながら活動を継続することができました。

福祉除雪サービス活動に関しては、期間内40日の担当でしたが、今冬は、降雪量が平年の75%程度と少なかったこともあり、7回の活動実績でしたが3世帯(3月は2世帯)の除雪を継続して行いました。

障害者雇用に関しては、清掃作業での雇用を考え、求人登録も続けてきましたが雇用に至っていないのが実態です。

2. 居宅生活訓練事業の展開

3名の訓練参加者で継続して行いましたが、アパートへの訪問等では部屋の整理などに問題があるなど個々の課題を話し合いながら進め、1名については、社会復帰への意欲から就職に結びついた事例もあり事業の成果として捉えることができると思います。

3. 施設実習研修等の強化

複雑化・多様化する福祉ニーズへの対応と、施設に求められる機能強化には、職員資質と処遇技術の向上をより一層高めることが重要であります。

このことから、他の施設の見学のみならず、25年度から展開している救護施設親愛の家（歌志内市）との相互による実習研修を継続しつつ、新たに救護施設東明寮（帯広市）と実習研修を実施しました。

もとより、利用者への身体拘束、虐待防止に関する研修や、相互信頼の職場環境づくり、メンタル・ヘルス対策の研修を施設内で実施するとともに、各種の外部研修への職員参加を例年同様に計画的に進めることができました。

4. 安心・安全な施設生活のための健康保全対策

感染症対策には、保健衛生委員会を中心として利用者の健康管理と衛生指導の強化に取り組み、感染症の発症を防ぐことができました。

また、利用者の高齢化により日常生活動作（ADL）の低下が認められることから、事故防止等対策を進めるため、ヒヤリ・ハット委員会において報告されたインシデント・レポートを精査した上で、その対応を図るとともに、嘱託医をはじめ協力医療機関との連携のもとに、安心・安全な生活の維持に努めました。

5. 計画的な資金運営と業務の見直しの強化

ここ数年、新規入所者の取扱が少ないことから（問合せあるも入所に至るには難しい問題を抱えたケースが目立つ）、定員割れが続いており、全般的に安定した施設運営を維持するためには定員確保が必要なことから、市内に留まらず、医療機関や措置機関の訪問も行い、対応が難しいと言うより、どうしたら対応していけるのかを考え、依頼のあった相談に対応し、平均措置人員は 91.75 人となりました。

そうした中、20 年を経過し施設設備の老朽化に伴う改修及び故障等による器具・備品等の入れ替えが増えつつある現状から、利用者の施設生活に支障を来すことの無い様、業務内容や職員配置の見直しを図り計画的な資金運営に努めました。

6. 食の安全と栄養管理の徹底

施設生活を安心・安全に維持するためには、利用者の医療的健康管理はもとより、個々の利用者の身体状態にあった安全な食の提供による健康管理が重要であります。また、食材に限らず厨房設備備品の衛生管理及び従事する厨房職員並びに介助する職員全員の衛生管理も徹底する必要があります。保健衛生委員会及び栄養士の主導のもとに、利用者を含めての衛生教育、管理を積極的に進めました。

7. 地域との連携強化と安全対策

施設における地域貢献事業は、これまでの関係団体（町内会や社会福祉協議会等）との関係をより一層深めることとなります。また、記念事業や行事にボランティアとして参加していただき協力関係を築いてきました。

また、救命効果の向上を図るため、全職員を対象とした救急救命講習の継続実施や施設内研修を行いました。

8. 防災計画による安全対策への取組

想定外の風水害や数十年に一度の暴風雪等など、大規模な被害をもたらす災害の発生がみられるようになり、施設としてはあらゆる災害に対応する策を構築しなければなりません。そうした災害の想定も意識しながら、防火管理者の主導のもとに職員、利用者への安全教育・指導・総合訓練等を定期的の実施致しました。

9. 各種委員会活動の取り組み

(1) ヒヤリ・ハット委員会

今年度も多くの報告があり、職員間で防止策を検討し迅速な対応をしてきました。今年度は、前年度に比べ約 50 件ものヒヤリ・ハットの未然防止に繋げることができましたが、今だ、事故に繋がりがかねない多くのリスクが潜在していることを確認しました。今後も、未然に防げる対策を職員間で検討し連携を図りながら事故 0 を目標に努めて行きたいと思っております。

(2) メンタルヘルスケア委員会

今年度は、職員のメンタル面での環境整備を施設運営上においても、個人の問題だけに片付けることなく、組織的な取組が必要であることから昨年の 2 名に続き委員 1 名がメンタルヘルスケアに関する研修に参加してきました。研修により日常生活の環境の変化と人間関係の複雑化によりストレスを抱え、悩みを持つ人たちが社会では急増していることに改めて気付かされました。今年度も外部団体で開催されている交流事業への案内を積極的に回覧し、気分転換の出来る場の周知を積極的に行いました。この回覧により多くの職員の参加が目立ってきていると感じます。今年度は、職員同士の交流の場を時間外に設けチームワークの確立を図っていきたくと考えております。

(3) 評価基準委員会

昨年度と同様に平成 18 年度に策定した施設の基本理念・基本方針の主旨等を再認識するにとどまりました。研修等で職員個々が社会問題ともなっている利用者の虐待についての講義を受け、他地域での虐待防止チェックリストの活用状況や第三者評価を受けていることを目の当たりにしたと思っております。第三者評価を受けることにより様々な刺激を受けるとともに改善しなくてはならないことにも気付き、施設職員としての意識向上が図れるものと考えております。今後は、他地域の救護施設や当法人の各施設で受けている第三者評価を受けていかななくてはならないと考えております。

(4) 保健衛生委員会

例年ではありますが、委員会としてノロウイルス・インフルエンザ等の感染症の対策を中心に施設内の消毒を進めてきた結果、今年度はそのような感染症が発生することなく、利用者の安心した生活を守ることが出来たと感じております。施設利用者の中でも高齢者に限ってはありますが、肺炎球菌ワクチンの接種も進めて参りました。今年度においても同様に進めて参りたいと考えております。既存の感染症の他に新たな感染症についてもマニュアル作成を今後すすめていきたく感じております。

(5) 施設内研修委員会

今年度は介護現場で生かされるような研修をしてまいりました。施設へ出入りされている業者に講師をお願いし、オムツの使い方の研修、嚥下機能・嚥下障害への理解などを深めて参りました。また、普通救命講習も継続的に行い、知識・技術の再確認し、有事の際に生かせるように研修を実施しました。それらを踏まえ、地域住民の緊急事態に協力・貢献出来るような体制を継続してとっていくべく、来年度に向けても普通救命講習及びスキルアップを考えております。

(6) 身体拘束廃止委員会

重度の障がい者に対し、安全確保のため拘束せざる得ない場合もあり、家族の同意の元対応させて頂いているが、全ての拘束廃止を目指し対策の検討をおこなってきました。

現在では職員の見守りや観察を細目におこない、拘束時間を短縮する対応をおこなっています。

今後は拘束の廃止に向け、職員間でのさらなる検討と対策に努めて行きます。

平成27年度事業実施報告

1. 職員の教育訓練

<各種大会・研修会・研究会参加>

○第45回全道救護施設職員研修会 家久園長・鈴木俊・後藤・佐々木・松本	6月11日～12日	函館市
○第19回北海道抑制廃止研究会 工藤・原田	6月13日	札幌市
○第38回札幌市社会福祉大会（札幌市社会福祉事業永年勤続者表彰） 山崎利・鈴木俊・後藤	7月2日	札幌市
○帯広市東明寮職員相互実習研修 向後・阿部	7月8日～10日	帯広市
○経理・総務担当者専門研修 松浦	7月22日～23日	札幌市
○福祉専門職のためのキャリアアップ専門研修（中堅職員コース） 佐藤元	8月20日～21日	札幌市
○第65回北海道福祉大会（北海道社会福祉協議会会長表彰） 廣川・平山	8月27日	札幌市
○介護職員専門研修Ⅱ 太田弘	9月3日～4日	札幌市
○歌志内市親愛の家職員相互実習研修 馬場・佐藤千	9月7日～9日	歌志内市
○第39回全国救護施設研究協議大会 家久園長・山崎利・向後・山崎彩・嶋田 廣川・平山・盛・鈴木裕	10月8日～9日	札幌市
○暴力被害者スキルアップ講座 堀井・栗生	11月10日～11日	東京都
○メンタルヘルス研修会 糸田	11月12日～13日	札幌市
○栄養士専門研修（児童・成人） 福士	11月19日～20日	札幌市
○全国厚生事業団体連絡協議会研究会議 山崎利	1月26日～27日	東京都

2. 職員の配置状況

(28. 3. 31現在)

	施設 長	事務 員	主任 指導 員	指 導 員	寮 母	看 護 師	栄 養 士	調 理 員	介 助 員	医 師	そ の 他	計 (人)
定 員	1	2	1	0	17	1	1	4 (1)	1	(1)	0	28 (2)
現 員	1	2	1	0	17 (1)	2	1	4 (0)	1	(2)	0 (9)	29 (13)
過 不 足	0	0	0	0	0 (1)	1	0	0 (-1)	0	(1)	0 (9)	1 (10)

※ 医師の（ ）内は、内科1名、精神科1名の嘱託医師

※ 寮母の現員の（ ）の人数は契約職員1名

※ その他は、契約洗濯員2名、契約巡視員3名、契約調理補助員4名

3. 平成27年度 職員人事異動

(28. 3. 31現在)

氏 名	職 名	発 令 区 分			備 考
		就 任	退 任	異 動	
後 藤 美 和	介 護 職 員			27. 4. 1	札幌市あけぼの荘より
渡 邊 せつ子	介 護 職 員		27.10.31		定 年 退 職
高 橋 寛	指 導 員	27.11. 1			
家 久 雅 博	施 設 長		27.11.30		定 年 退 職
石 井 喜代美	施 設 長	27.12. 1			静心寮より(昇格)
山 崎 彩	介 護 職 員			28. 2. 29	自己都合退職

4. 年度の動き

要 項	年 月 日	記	事
1. 監 査 等	27. 5. 12	札幌厚生会法人監事監査	家久園長他3名
	27. 7. 31	札幌厚生会法人監事監査	家久園長他3名
	27. 10. 26	札幌厚生会法人監事監査	家久園長他2名
	28. 2. 5	札幌厚生会法人監事監査	石井園長他2名
	28. 2. 25	札幌市保健福祉局監査指導課による社会福祉施設の指導監査	石井園長他6名
2. 札幌厚生会 理事会・評議員会等 施設長会議	27. 4. 22	札幌厚生会施設長会議	家久園長
	27. 5. 19	札幌厚生会施設長会議	家久園長
	27. 5. 26	札幌厚生会理事会・評議員会	家久園長
	27. 6. 26	札幌厚生会施設長会議	家久園長
	27. 9. 25	札幌厚生会施設長会議	家久園長
	27. 10. 23	札幌厚生会施設長会議	家久園長
	27. 11. 24	札幌厚生会施設長会議	家久園長
	27. 12. 11	札幌厚生会施設長会議	石井園長
	27. 12. 11	札幌厚生会理事会・評議員会	石井園長
	28. 1. 20	札幌厚生会施設長会議	石井園長
	28. 2. 26	札幌厚生会施設長会議	石井園長
	28. 3. 15	札幌厚生会施設長会議	石井園長
	28. 3. 24	札幌厚生会理事会・評議員会	石井園長
3. 会 議 等 (1) 官 公 署 (2) 社 協 他 関係諸団体 (3) 部 内	27. 4. 15	札幌市保健福祉局保護指導課との施設長・事務長会議	家久園長他1名
	27. 4. 30~5. 1	全国救護施設協議会理事会・総会・施設長会議（東京都）	家久園長
	27. 6. 12	北海道救護施設協議会役員会	家久園長
	27. 7. 14	救護施設・相談担当合同会議（ホームレス対応打合せ等）	佐藤元・鈴木俊
	28. 1. 29	北海道救護施設協議会総会	石井園長
	28. 2. 8	就労体験等推進事業協議会	山崎利
	28. 2. 10	生活困窮者の現状と改題会議・シンポジウム	向後
	28. 2. 17	保護司研修	石井園長
	28. 3. 3	生活困窮者自立支援会議	向後
	27. 4. 9	処遇会議	
	27. 4. 17	処遇会議	
	27. 4. 24	個別支援計画検討会	
	27. 4. 27	定例職員会議5月分	
	27. 5. 8	処遇会議	
	27. 5. 15	個別支援計画検討会	
	27. 5. 22	処遇会議	
	27. 5. 28	定例職員会議6月分	
	27. 5. 29	処遇会議	
	27. 6. 5	処遇会議	

要 項	年 月 日	記	事
	27. 6. 12	個別支援計画検討会	
	27. 6. 19	処遇会議	
	27. 6. 29	定例職員会議7月分	
	27. 7. 3	処遇会議	
	27. 7. 17	個別支援計画検討会	
	27. 7. 24	処遇会議	
	27. 7. 29	定例職員会議8月分	
	27. 7. 31	処遇会議	
	27. 8. 14	処遇会議	
	27. 8. 21	個別支援計画検討会	
	27. 8. 31	定例職員会議9月分	
	27. 9. 4	処遇会議	
	27. 9. 25	個別支援計画検討会	
	27. 9. 28	定例職員会議10月分	
	27. 10. 2	処遇会議	
	27. 10. 16	処遇会議・個別支援計画検討会	
	27. 10. 23	処遇会議	
	27. 10. 29	定例職員会議11月分	
	27. 10. 30	処遇会議	
	27. 11. 6	処遇会議	
	27. 11. 20	処遇会議	
	27. 12. 2	定例職員会議12月分	
	27. 12. 5	処遇会議	
	27. 12. 11	処遇会議	
	27. 12. 18	処遇会議	
	27. 12. 25	処遇会議	
	28. 1. 6	定例職員会議1月分	
	28. 1. 8	処遇会議	
	28. 1. 15	処遇会議	
	28. 1. 22	処遇会議	
	28. 1. 25	定例職員会議2月分	
	28. 1. 29	処遇会議	
	28. 2. 12	処遇会議	
	28. 2. 19	処遇会議	
	28. 2. 26	処遇会議	
	28. 2. 29	定例職員会議3月分	
	28. 3. 4	処遇会議	
	28. 3. 11	処遇会議	

要 項	年 月 日	記 事
	28. 3. 18	処遇会議
	28. 3. 25	処遇会議
	28. 3. 28	定例職員会議4月分
4. 研 修 説明会等 (教育訓練・上記記載以外)	27. 4. 15	札幌白石区防火管理者協議会総会 向後
	27. 4. 27	札幌白石区危険物安全協議会総会 向後
	27. 5. 14・6. 15	施設内研修（おむつの使い方について） 24名参加
	27. 7. 28	経理勉強会 山崎利・松浦
	27. 8. 24	施設内研修（普通救命講習） 13名参加
	27. 9. 30	施設内研修（嚔下機能・嚔下障害への対応） 15名参加
	27. 10. 17	職場見学会（事業主行動計画推進事業） 職員の子供7名来園
	27. 10. 19	普通救命講習（消防署） 2名参加
	27. 11. 10	福祉医療医療機構退職手当実務研修会 山崎利
	27. 11. 26	年末調整講習会（税務署） 山崎利
	27. 11. 27	年末調整講習会（プロテック） 松浦
	28. 1. 19	介護保険サービス事業者集団指導 石井園長
	28. 2. 18	社会福祉法人経営実務セミナー 石井園長
	28. 3. 11	札幌白石区防火管理者協議会総会 向後
5. 来 訪 (1) 視察・見学 ボランティア	27. 6. 25～27	歌志内市親愛の家職員相互実習研修（受け入れ） 2名
	27. 9. 2～4	帯広市東明寮職員相互実習研修（受け入れ） 1名
	27. 10. 7	他救護施設職員の見学（佐賀県：しみず園 愛知県：植田寮） 3名
	27. 11. 2～11	道都大学実習生 1名
	27. 11. 6	第61回開設記念行事来客者 来客者151名＋ボランティア14名
	27. 11. 25	お手玉同好会ボランティア 3名
(2) 実態調査	27. 6. 29	旭川市 中井 主事 (対象者 4名)
	27. 7. 15	名寄市 本郷 主事・合掌 主事 (対象者 9名)
	27. 7. 17	岩見沢市 佐野 主事 (対象者 2名)
	27. 8. 13	滝川市 若井 主事 (対象者 1名)
	27. 8. 26	名寄市 佐藤 係長・合掌 主事 (対象者 1名)
	27. 9. 15	空知総合振興局 川端 主任 (対象者 2名)
	27. 9. 17	オホーツク総合振興局 梅澤 主任 (対象者 2名)
	27. 9. 29	上川総合振興局 藤田 主任 (対象者 4名)
	27. 9. 30	日高振興局 古賀 主事 (対象者 2名)
	27. 10. 7	富良野市 墓田 係長・松葉 主事 (対象者 2名)
	27. 10. 7	室蘭市 佐藤 主事 (対象者 1名)
	27. 10. 9	千歳市 海谷 主事 (対象者 1名)
	27. 10. 15	北見市 林 主事・水戸部 主事 (対象者 2名)
	27. 10. 15	釧路市 武利 専門員 (対象者 1名)
	27. 10. 30	十勝総合振興局 北野 主任 (対象者 4名)

要 項	年 月 日	記 事	事
	27. 11. 12	紋別市 舟橋 主任 ・ 芳賀 主事	(対象者 1名)
	27. 11. 30	石狩市 荒井 主事	(対象者 1名)
	27. 11. 30	白石区 盛 主事	(対象者 1名)
	27. 12. 25	三笠市 坂上 主事 ・ 戸松 主事	(対象者 5名)
	28. 1. 21	石狩総合振興局 渋谷 主事	(対象者 1名)
	28. 2. 24	白石区 盛 主事	(対象者 1名)
	28. 3. 3	滝川市 谷内 主事	(対象者 1名)
6. 儀 礼	27. 5. 1	第62回 静心寮開設記念	出勤職員全員訪問
(1) 表 敬	27. 5. 10	第53回 札幌市あけぼの荘開設記念	出勤職員全員訪問
(2) 慰 問	27. 5. 13	第96回 札幌明啓院創立記念	職員4名訪問
	27. 9. 6	第23回北翔祭(札幌あゆみの園)	出勤介護職員
	27. 9. 13	第17回光友園まつり	出勤介護職員・利用者
	27. 12. 3	草舞弦(そうぶげん)	楽器演奏と歌と踊り
7. そ の 他	27. 4. 9	第18回地方統一選挙 不在者投票	21名
(1) 受 章	27. 6. 4	深夜勤務者検診	20名
(2) そ の 他	27. 8. 17	夜間想定検証制度	
	27. 8. 20	慰霊祭(物故者法要)	
	27. 9	腰痛検診	7名
	27. 9. 5	北海道救護施設職員スポレク	2名
	27. 10. 28	生活習慣病予防健診	全職員
	27. 11. 14	札幌救護施設協議会スポレクボウリング大会・懇親会	13名
	27. 11~12	マンモグラフィ検診・子宮癌検診	18名
	27. 12. 11	札幌厚生会むつみ会総会	26名
	28. 1. 9	親睦会新年交礼会	29名
	27. 12 ~ 3	法人社会貢献事業(福祉除雪サービス)	7回実施

生活指導

1. 生活指導

長期間入所されている利用者は、高齢化と障がいの重度化が顕著であり、生活の中で健康管理と身体機能維持への支援が中心となりましたが、施設サービスの充実を図り、楽しみを持って生活が送れるように努めてきました。

また、自立された利用者には、処遇目標及びニーズを元に個別支援計画を作成するにあたり、積極的な意見を頂けるよう、相談しやすい環境作りや社会の一員として様々な役割分担のなか施設生活を主体的に送れるよう自立支援をおこなってきました。

日常生活の中で、利用者が特に楽しみにしているレクリエーションでは、利用者の状況等を踏まえ、内容を検討・改善を行い生活意欲が向上するような取り組みをおこなってきました。また、売店は利用者が一番に楽しみにしている行事であるため、移動売店の導入を進め、買物をする機会を増やし、生活意欲の助長につながるようにしてきました。

近年通過型施設としての役割が求められる中、当施設としても積極的な受け入れをおこない、利用者が希望する単身生活に向け、各関係機関との連携調整をし、次の生活の場へ移行するなど対応してきました。現在も自立を目指す方への訓練として、「居宅生活訓練事業」を行う中で、必要なスキルを習得するための訓練を行っています。

新規利用者も様々な疾病や障がいを患った方の依頼も多く、環境の変化は大きな身体的・精神的な負担になるため、安心して生活できるような対応にも心がけ、今後も継続していきたいと思っています。

2. 居宅生活訓練事業

施設からの自立を目指す利用者には、「居宅生活訓練事業」を通して、より地域社会に近い形で訓練をおこない、現在どのような問題があるのかを把握することで、自立に向けた課題を職員と確認し、課題となる問題を克服するよう生活に必要なスキルの向上に努めてきました。

今年度は一名の利用者が、就労に結びつき自立生活への準備をしています。

3. 個別支援計画

個別支援計画では、利用者との対話を重点に置き、面接方式で支援計画の作成をしています。面接方式にすることで、今まで以上に意見を聞け、利用者の実態をより把握できたと感じています。

重度障がいのある利用者に関しては、施設サービスの充実を図ることを中心に利用者の希望を取り入れながら実践できるよう努めてきました。

4. 緊急一時入所者の対応

今年度の利用傾向としては若年層の依頼が多く、その背景として、軽度の障がいから親族での受入れが困難となるケースが多く見られました。

当施設としては、入所者の現状を把握し関係機関と連携を図りながら、一人一人に合った方向性を相談し、自立に向け支援してきました。

5. 地域及び関係機関との関わり

夏祭りや開設記念を通じ、町内会ボランティアや学生ボランティアに協力してもらい、施設利用者との交流を図ってきました。

また、町内会の夏祭りを通じ、施設が地域社会の一部であることを近隣住民に理解していただけるよう利用者と共に毎年参加しています。

6. 家族との交流

家族との交流については、広報誌「みちしば」の送付の他、夏祭りや開設記念行事の案内、日常の中での電話連絡やハガキ・手紙の送付等にて交流を図ってきました。

また、利用者から、お墓参りや親族へ面会等の希望もあり、ご家族の協力得ながら交流を図ることも出来ました。

- ① 三笠市 → 家族宅訪問
- ② 美唄市 → お墓参り
- ③ 三笠市 → お墓参り
- ④ 山口県 → 家族宅訪問

7. 作 業

今年度の作業は、従来の箸作業に加え、新箸作業の三つ折加工箸作業の 2 種類を中心に行って来ました。新しい作業の参加人数も、多少は増えてきたので、今後に期待が持てるようになっております。今後も作業の重要性を理解してもらい、しっかりとした結果を残していきたいと思っております。

平成 27 年度作業実績

- ・ 総収入金額 245,025 円 (平成 26 年度 243,375 円)
(内、旧作業分：215,525 円、新作業分：29,500 円)
- ・ 一人当たりの収入金額 (平均)
 - 旧作業分 2,290 円 (参加者 47 名)
 - 新作業分 360 円 (参加者 43 名)

今年度は天候に恵まれ、想定以上の収穫ができました。収穫物は甘味品や食事で提供していくことができました。じゃがいもとぶどうは十分な量の収穫ができました。園生も畑作業に意欲的で、収穫時期だけではなく、日々の作業にも多くの園生が積極的に参加していました。来年度も引き続き、事前にしっかりと準備をして畑作業に取り組み、園生の楽しみとなるような取り組みをしていきたいと考えております。

平成 27 年度収穫

さくらんぼ	6.2kg	とうきび	18kg	ぶどう	106kg
枝豆	14kg	じゃがいも	58kg		

8. リハビリ訓練

今年度も昨年度同様の回数をおこなうことが出来た。器具の使い方や使用する順序を工夫しながら、限られた時間内で上手く実施することが出来ました。

年間実施回数 68回 平均参加人数 14名

柔道整復師の来園も7年が経過し、専門的な施術が必要な方に週1回ですが行っており、今後も継続していきたいと思えます。

年間実施回数 49回 平均参加人数 10.3名

9. 防災体制

予想のできない災害から、常に迅速な対応ができるよう訓練内容を再度確認・改善し実践してきました。

火災に対しての訓練では、出火が考えられるあらゆる場所を想定することで、安全に避難ができる体制を整え、訓練を行ってきました。

地震に対しての訓練では、利用者が不安にならないよう職員が冷静な判断と対応で安全に避難ができるよう努めてきました。

今後も、利用者の高齢化・障がいの重度化が進み、避難の困難さが考えられることから、より良い避難体制と利用者が不安にならないような訓練を考え、実践して行きます。

訓練実施状況

実施月日	訓練内容	備考
4月6日～18日	教育訓練	部署ごとに実施（職員）
5月18日	総合訓練	日中想定・消火訓練含む
6月16日	避難訓練	日中想定・スロープ訓練
7月6日	避難訓練	夜間想定
8月10日	避難訓練	検証訓練
9月14日	防災訓練	地震想定

10. クラブ活動

クラブ担当者にて年間計画を作成し、参加者が活動内容を把握できるようにしました。
クラブ活動を通じ、生活の中で楽しみを見出し余暇活動へ繋がるように努めてきました。
また、生花クラブと音楽療法では講師を招き、より専門的な活動を継続しておこなってきました。
〔別記3〕

11. 教養娯楽

高齢化が進む中で、全ての利用者さんが参加できるように、選択制のレクリエーションを増やし、自分に合ったレクリエーションに参加できるように努めてきました。

また、利用者さんでプランを立ておこなう、マイプラン旅行もおこない日常生活の助長に繋がったと感じています。

※各棟グループレク実施状況は〔別記2〕のとおりであります。

12. 給食

生命保持、健康維持を目的として必要な食物、更に、安全でニーズにあった食事を提供します。生活習慣によって引き起こされる疾病予防や高齢に伴う障害を軽減し、おだやかな生活を過ごして頂ける様に健康作りを行います。

献立作成は、食事摂取基準・給与食糧構成を基に栄養バランス、消化吸収、バラエティに富んだメニューを考慮し、1日30食品摂取を目標とし、旬の食材等も取り入れながら、また郷土色豊かな食事、季節を味わって頂くなど嗜好面も考え作成します。給食会議、全体集会等の意見を反映させます。また、より家庭的雰囲気になづくよう、行事食及び日常の食事において、お楽しみ献立や複数献立実施し選択を行います。

調理業務は適温適時給食、食品鮮度の確保、薄味調理、盛り付けの工夫への努力を行い、月1度の検便の実施により食品事故を起こさないための定期検査、保存食確保等を実施します。

また、調理従業者の疾態（治療食）教育、衛生教育指導を始め各研修への参加を促進します。

疾病や障害等個々の状態にあった食事の提供で給食の充実を図っていきます。

本年度の基準は下記の通りとします。

1日当たり給食費 880円

エネルギー摂取量 1,750kcal

・蛋白質	60.0g	・ビタミンA	750μg
・脂 肪	45.0g	・ビタミンB1	1.40mg
・カルシウム	600mg	・ビタミンB2	1.60mg
・鉄 分	8.0mg	・ビタミンC	100mg

13. 嗜好品

日々の給食で補いきれない嗜好品を重視します。加齢に伴い疾病の誘因とならない様適量の支給とします。利用者の高齢化、疾病の進行状況にあった病態対応食の導入も行っています。

支給日 月・水・土曜日

14. 健康管理

利用者の高齢化に伴い、各種健診、施設内治療、日常生活の中で利用者の変化に気づき、早期対応・治療が行えました。今年度もラジオ体操・散歩の積極的参加を促してきました。また普段から体操・散歩に参加していない入所者に対してどのようにして促していくのか課題である。インフルエンザ、ノロウイルスに関しては、早い時期にインフルエンザワクチン接種を行い、1日4回の施設内消毒、通年を通してのイソジンによるうがい、手洗いの励行を徹底してきました。今年度インフルエンザ罹患者はいませんでした。

月別患者数

科別	月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
		通院者数	延べ人数	通院者数	延べ人数	通院者数	延べ人数	通院者数	延べ人数	通院者数	延べ人数	通院者数	延べ人数	
内 科	通院者数	89	91	90	88	88	89	89	90	89	87	86	90	1066
	延べ人数	178	185	180	180	185	178	187	178	186	170	160	187	2154
精 神 科	通院者数	46	46	45	44	44	45	48	46	45	45	42	46	542
	延べ人数	96	91	90	89	92	93	96	92	95	94	86	92	1106
皮 膚 科	通院者数	31	24	29	20	30	26	34	30	39	23	38	21	345
	延べ人数	50	50	55	35	34	52	60	76	55	38	58	42	605
外 科	通院者数	3	3	2	3	2	2	2	1	2	2	2	3	27
	延べ人数	4	4	2	4	4	2	2	1	4	2	2	3	34
整形外科	通院者数	23	13	28	13	21	22	28	18	21	20	22	20	249
	延べ人数	25	20	30	15	25	28	31	21	23	22	30	21	291
歯 科	通院者数	7	9	11	9	5	8	4	5	7	14	7	10	96
	延べ人数	14	16	22	18	11	19	18	15	17	27	14	25	216
脳 外 科	通院者数	6	7	5	7	3	9	5	8	7	4	4	9	74
	延べ人数	10	8	6	8	5	9	6	12	9	6	4	9	92
耳 鼻 科	通院者数	7	5	5	3	5	4	10	3	6	1	8	5	62
	延べ人数	11	5	5	5	9	8	10	5	7	1	9	9	84
眼 科	通院者数	6	10	5	10	12	10	9	7	6	8	5	7	95
	延べ人数	15	18	10	15	18	14	17	10	15	8	8	11	159
循 環 器	通院者数	1	—	—	1	—	1	1	2	—	—	—	1	7
	延べ人数	1	—	—	1	—	1	1	4	—	—	—	1	9
泌尿器科	通院者数	15	11	9	8	10	11	10	13	11	13	10	13	134
	延べ人数	15	18	13	12	18	15	16	16	15	23	16	18	195
外 傷	通院者数	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	1
	延べ人数	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	1
呼吸器科	通院者数	—	—	—	1	—	1	—	—	1	—	1	—	4
	延べ人数	—	—	—	1	—	1	—	—	1	—	1	—	4
乳腺外来	通院者数	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	延べ人数	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
麻 酔 科	通院者数	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	2
	延べ人数	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	2
肛 門 科	通院者数	1	—	1	—	1	—	2	—	—	—	—	—	5
	延べ人数	1	—	1	—	1	—	2	—	—	—	—	—	5

主な年間行事実施状況（全体レク）

月 日	行 事 名	参 加 人 数	内 容
4.16	第35回 カラオケ交流会 (会場：福祉園) (司会：福祉園)	出場者 6名 来園者 74名	福祉園の集会室に救護3施設の利用者が集まりました。各施設6名が出場し、自慢の歌を披露しました。最後は全員で合唱して閉会となり、久しぶりに仲間との再開を楽しむことができました。
6.3 4	一泊旅行 定山溪 ホテル・ミリオーネ	利用者 15名 職 員 8名	まず円山動物園に見学へ行き、その後中央卸市場で昼食を食べました。ホテルへ到着し、お部屋でゆっくりする人、お風呂に入る人、買物する人と個々に自由な時間を過ごしていました。夕食はお座敷で豪華なお膳を美味しく頂き、良い気分転換になりました。またカラオケで盛り上がり、良い思い出になりました。
7.15 16	一泊旅行 北湯沢 第二名水亭	利用者 6名 職 員 2名	利用者さんの希望や意見を取り入れたマイプラン旅行を実施しました。 自分の行きたいところなどが盛り込まれた旅行に皆さん満足されていました。 バスではなく園ワゴンでの移動も良い思い出になりました。
7.23	遠足 ゆにガーデン	利用者 39名 職員 10名	四季を感じるために、由仁町にあるユニガーデンに遠足へ行きました。 おいしいお弁当をいただき、園内巡回バスへ乗り、花や秋の風を感じる事が出来ました。
8.6	白石福祉園夏祭り	全 員	福祉園の駐車場にての夏祭りでしたが、当初予定した月に開催が出来なかったため、小規模となりましたが、予定していたゲーム等を行い、楽しまれていました。
8.13	合同盆踊り 合同花火大会	全 員	福祉園と静心寮の間にやぐらを立て、それを中心にみんなで盆踊りを踊り、仮装する方、踊りを楽しみました。 その後、静心寮と合同で花火大会を行い、夏の夜風に当たりながら変わりゆく季節を感じました。
9.2 3	一泊旅行 定山溪 グランドホテル	利用者 16名 職 員 6名	ホテルへ到着し、お部屋でゆっくりする人、お風呂に入る人、買物する人と個々に自由な時間を過ごしていました。夕食は大きな会場で豪華なバイキングを美味しく頂き、良い気分転換になりました。
9.10	第15回 パークゴルフ大会 さとらんど	利用者 10名 職 員 3名	4つの救護施設でさとらんどに集まり、パークゴルフの腕を競い合いました。惜しくも優勝は逃しましたが、来年こそはと言い合いながら帰りました。
9.18	敬老会	全 員	70歳以上の方のお祝いで、今年は1名の方が新たに仲間入りをし、58名の方がお祝いを受けました。園長からお祝いの言葉を貰い、記念品の贈呈があり、敬老者の代表者からお礼の言葉がありました。今年は職員有志の寸劇もあり、大変喜ばれていました。

11.6	第 61 回開設記念行事	全 員	多くの訪問客が訪れ、大いににぎわいました。焼き鳥、飲物、喫茶コーナー、お寿司コーナーがあり、多くの訪問客や利用者が開設記念を祝っていました。
12.3	園内園芸鑑賞会	全 員	今年度も「草舞弦」の皆さんに来園していただき、日本舞踊や民謡を演奏していただきました。
12.10	もちつき	全 員	食堂にて園生の手でもちつきを行いました。交代でもちをつき、暮れの季節感を味わいました。
12.24	クリスマス会	全 員	例年通り、カラオケ大会、職員による寸劇、サンタさんによるプレゼント、聖火隊による行進、クリスマスの食事と年に一度のお祝いを楽しみました。
1.7	新年会	全 員	カラオケ大会を行い、正月のお祝いをしながら、お互いに今年もよろしくという気持ちで一緒に歌を歌ったりして挨拶を交わしました。
1.23	合同カルタ大会	全 員	風邪引きが多いため中止となりましたが、福祉園内だけでカルタ大会を行いました。
2.3	節分	全 員	今年も集会室で年男の方が元気良く豆撒きを行いました。豆まき終了後には、鬼が出てきましたが、みなさんの力でボールを力いっぱい投げ、厄を追い払いました。
2.18	園内ゲーム大会	全 員	園内のゲーム大会では「ペタンク風的当て」「ゲームコーナー」の2つを行い、ゲーム終了後には、食堂で甘酒を味わいました。
3.6	日帰り外食 A 班 (シャトレーズ)	利用者 17 名 職員 7 名	3 月恒例の食事レクに行ってきました。今回はバイキング形式で、色々なものを楽しみながら食事されていました。
3.13	日帰り外食 B 班 (シャトレーズ)	利用者 24 名 職員 8 名	2 回目の食事レクに行ってきました。今回はバイキング形式で、色々なものを楽しみながら食事されていました。
3.17	日帰り外食 C 班 (シャトレーズ)	利用者 18 名 職員 6 名	今回は会食形式で、普段とは違う雰囲気の中緊張したのか、最初は静かに食事をされていましたが、次第に雰囲気にも慣れ段々と会話が弾み良い気分転換になりました。

選択レク・希望レク実施状況

(選択レク)

月 日	行 事 名	参 加 人 員	内 容
4.13	外食 とんでん森林公園店前	利用者 7名 職 員 4名	外食で和食を選ばれた方で、自分でメニューから好きな物を選び、楽しむことができました。
4.30	ショッピング 厚別西友	利用者 4名 職 員 3名	ショッピングで厚別西友を選ばれた方で、自分の好きな物などを買ったり、昼食で好きな物を食べたりして、楽しむことができました。
5.7	ショッピング 厚別西友	利用者 7名 職 員 4名	ショッピングで厚別西友を選ばれた方で、自分の好きな物などを買ったり、昼食で好きな物を食べたりして、楽しむことができました。
5.11	ショッピング 厚別西友	利用者 8名 職 員 4名	ショッピングでアリオ札幌を選ばれた方で、自分の好きな物などを買ったり、昼食で好きな物を食べたりして、楽しむことができました。
5.25	外食 ラパウザ厚別通店	利用者 3名 職 員 2名	外食で洋食を選ばれた方で、自分でメニューから好きな物を選び、楽しむことができました。
5.28	外食 とんでん森林公園店前	利用者 5名 職 員 3名	外食で和食を選ばれた方で、自分でメニューから好きな物を選び、楽しむことができました。
6.8	ショッピング 厚別西友	利用者 7名 職 員 4名	ショッピングで厚別西友を選ばれた方で、自分の好きな物などを買ったり、昼食で好きな物を食べたりして、楽しむことができました。
6.11	外食 暖龍	利用者 3名 職 員 2名	外食で中華を選ばれた方で、自分でメニューから好きな物を選び、楽しむことができました。
6.18	ショッピング アリオ札幌	利用者 5名 職 員 2名	ショッピングでアリオ札幌を選ばれた方で、自分の好きな物などを買ったり、昼食で好きな物を食べたりして、楽しむことができました。
6.22	ショッピング アリオ札幌	利用者 5名 職 員 3名	ショッピングでアリオ札幌を選ばれた方で、自分の好きな物などを買ったり、昼食で好きな物を食べたりして、楽しむことができました。
7.9	ショッピング ジャスコ東苗穂	利用者 9名 職 員 4名	ショッピングでジャスコを選ばれた方で、自分の好きな物などを買ったり、昼食で好きな物を食べたりして、楽しむことができました。
7.13	ショッピング ジャスコ東苗穂	利用者 7名 職 員 4名	ショッピングでジャスコを選ばれた方で、自分の好きな物などを買ったり、昼食で好きな物を食べたりして、楽しむことができました。

7.16	ショッピング ジャスコ東苗穂	利用者 8名 職員 5名	ショッピングでジャスコを選ばれた方で、自分の好きな物などを買ったり、昼食で好きな物を食べたりして、楽しむことができました。
7.18 22	出前 福祉園内	利用者 12名	外出が難しい方を対象に施設内で出前を注文し、普段とは違う雰囲気の食事をとってもらいました。

(希望レク)

月 日	行 事 名	参 加 人 員	内 容
8.10	外食 ラパウザ	利用者 3名 職員 1名	洋食を希望された方で、自分でメニューから好きな物を選び楽しむことができました。
8.24	ショッピング 東札幌ダイエー	利用者 4名 職員 2名	東札幌ダイエーでの買物を希望された方で、買物を楽しまれていました。
8.28	外食 うどん	利用者 1名 職員 1名	うどんを希望された方で、自分でメニューから好きな物を選び楽しむことができました。
9.5	お茶会 ロイヤルホスト	利用者 6名 職員 3名	お茶会を希望された方で、パフェなどを食べて楽しむことができました。
9.7	バイキング ロイン亭	利用者 13名 職員 6名	バイキングを希望された方で、自分でたくさんあるメニューの中から好きな物を選び楽しむことができました。
9.10	バイキング ロイン亭	利用者 8名 職員 5名	バイキングを希望された方で、自分でたくさんあるメニューの中から好きな物を選び楽しむことができました。
9.24	日帰り温泉 JRタワー	利用者 1名 職員 1名	日帰り温泉を希望された方で、JRタワーで日帰り温泉を楽しまれていました。
10.1	外食 すしてん	利用者 4名 職員 3名	寿司を希望された方で、自分でメニューから好きな物を選び楽しむことができました。
10.15	外食 さんぱち	利用者 5名 職員 3名	ラーメンを希望された方で、自分でメニューから好きな物を選び楽しむことができました。
10.19	外食 すしてん	利用者 6名 職員 3名	寿司を希望された方で、自分でメニューから好きな物を選び楽しむことができました。
10.31	神社参拝 白石神社	利用者 3名 職員 2名	神社参拝を希望された方で、神社でお参りをし、食事をして楽しむことができました。
11.12	外食 すしてん	利用者 8名 職員 4名	寿司を希望された方で、自分でメニューから好きな物を選び楽しむことができました。
11.26	出前 福祉園内	利用者 8名	外出が難しい方を対象に施設内で出前を注文し、普段とは違う雰囲気の食事をとってもらいました。

〔別記3〕

ク ラ ブ の 実 施 状 況

クラブ	参加人員		実 施 経 過 と 効 果
	使用者	職 員	
習 字	15	3	一年間を通していつもと同じメンバーの中、たまに習字クラブでない方にも声を掛ける参加されることもあったので、今後もこだわらず声掛けを行っていきます。正月の書き初めでは、今年、一年の抱負みたいなことを書いていただき、生活に生かしていただいています。
手 芸	7	3	個々のペースに合わせ、楽しみながら編み物や刺し子を行いました。クラブの時間が足りないという声がありましたので、来年度に向けて検討していきたいと思います。
音 楽	7	4	早口言葉・発声練習（北原白秋編など）で言語療法や音楽療法で楽しみながらリハビリができ、誰もが気楽に参加して楽しめるクラブに今後したいと思います。継続的に、二ヶ月に一回音楽療法の講師を招いて、音楽を用いての日常の楽しみが持てるよう取り組みました。
生 花	6	3	好きな花器を自分で選んで頂き、くじ引きで花を選び、自由に生けてもらい外来講師のアドバイスを頂きました。 また、生けた花は最後まで自分でお世話をするように話をし、忘れてしまう方もいましたが、それぞれ責任を持ってお世話をいただきました。来年度も引き続き継続して欲しいと思います。介護職員も忘れてしまう方の援助をしながら楽しいクラブ活動にしたいと思います。
自 由	20	4	今年度は四季折々のイベントに合わせてクラブを実施しました。 夏にはスイカ割や水遊び、こいのぼりの作成、花壇を作成するなどを行い、参加者を限定せず皆さんと取り組みました。
四つ葉の集い	2	2	各施設の参加者の希望を聞きながら実施しました。車で公園などの公共施設や、施設屋外での活動と、他施設の情報交換や交流を通じて視力のハンデがある人の励みの場となるよう取り組みました。

[別記4]

利用者の給食状況調

平成27年度
入園者 平均88名(緊急、検食、保存食含)

区分 月別	エネルギー	蛋白質		脂肪	1人1日当り 平均価格 (消費税含む) (円)
		蛋白質(g)	動物蛋白比(%)	エネルギー比(%)	
4	1,786	65.7	48.6	23.7	923
5	1,780	67.0	49.4	23.3	902
6	1,784	63.4	45.9	24.0	876
7	1,786	67.4	49.1	22.3	909
8	1,790	66.5	46.6	22.6	842
9	1,790	65.4	46.6	23.9	770
10	1,815	66.6	47.9	23.7	808
11	1,812	68.8	48.1	23.7	809
12	1,802	57.9	48	23.6	931
1	1,784	66.4	49.4	23.3	891
2	1,807	70.3	49.9	24.2	846
3	1,796	67.6	47.9	23.8	1,056
平均 (1ヶ月)	1,794	66.1	48.1	23.5	880.25
基準値	1,700	60.0	40~50	15~25	920

[別記5]

主 な 実 施 事 項

年 月	実 施 機 関	実 施 内 容	備 考
27.4	当 園	定期健診（利用者全員） 血圧・体重測定・身長	血圧高めにて毎日1人測定 毎月曜日1名（血圧） 毎火曜日4名 毎水曜日4名 2名毎金曜日（血圧） 体重測定毎日2名
27.4	対 癌 協 会	胃・大腸癌検診 男子：34名 女子：32名	・2名 胃要精検施行→軽度の逆流性食道炎・慢性胃炎 十二指腸潰瘍・胃炎 ・3名 大腸要精検施行→検便施行し問題なし
27.6	広 川 内 科 ク リ ニ ッ ク	腹部エコー検査 男子：41名 女子：48名	13名 腎のう胞→経過観察 4名 胆石→経過観察 1名 肝内石灰化→経過観察 1名 肝脂肪→経過観察 1名 水腎症→経過観察 1名 肝血管腫→経過観察 6名 肝のう胞→経過観察
27.6	白 石 中 央 病 院	乳癌検診：35名	34名 異常なし 1名左乳房生検 異常なし
27.7	対 癌 協 会	乳癌：10名 子宮癌：11名	乳癌健診 10名 異常なし 子宮癌健診11名 異常なし
27.6	結 核 予 防 会	胸部X-P（間接撮影） 男子：32名 女子：39名	・6名 要精検施行（広川内科クリニック） 再検査の結果→5名異常なし ・1名 CT検査（白石中央病院） 3ヶ月に1回検査の指示 右上葉気管拡張左下葉肺炎跡。
28.2	広 川 内 科 ク リ ニ ッ ク	肺炎球菌ワクチン接種 男子：6名 女子：11名	
27.10	当 園	定期健診（利用者全員） 血圧・体重測定	血圧測定（月曜日1名火曜日4名水曜日4名） 金曜日2名月2回1名（第2・4）血圧毎日1名 低体重にて体重測定開始5名
27.11	当 園	インフルエンザ予防接種	罹患者なし。

利 用 者 の 状 況 (措置人員)

(H28. 3. 31 現在)

定 員	現 在 員			
	男 性	女 性	計	充 足 率
100 人	44 人	49 人	93 人	93%

月別人員状況 (平成 27 年度)

月 別 区 分		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
		月初日人員	93	92	94	92	91	91	93	93	93	90	89	90
入 所	1				1	3		1					4	10
自 己 退 所			1							1				2
居 宅 保 護									1	1				2
長期入院による退所						1		1				1		3
他 施 設 異 動														0
死 亡								1						1
一時保護	入所		2		1	2		2	1		1	1	2	12
	退所	2		2		2	1		1	1	1	1	1	12
月末現在員	92	94	92	91	92	93	94	93	90	89	89	93	年間平均 91.8	

※は緊急入所からの正式入所

在所期間の状況

(H28. 3. 31 現在)

期 間 性 別	1 年	1 年	3 年	5 年	10 年	15 年	20 年	計 (人)	平均在所 期 間
	未 満	以 上 3 年 未 満	以 上 5 年 未 満	以 上 10 年 未 満	以 上 15 年 未 満	以 上 20 年 未 満	以 上		
男性	5	7	4	11	3	6	8	44	13 年
女性	3	2	0	9	1	4	30	49	30 年 4 ヲ月
計 (人)	8	9	4	20	4	10	38	93	22 年 1 ヲ月
割合 (%)	8.6	9.7	4.3	21.5	4.3	10.8	40.7	100	小数点第二位を 四捨五入

利用者年齢状況

(H28. 3. 31 現在)

年 齢 性 別	30 歳 未 満	30 歳 以 上 40 歳 未 満	40 歳 以 上 50 歳 未 満	50 歳 以 上 60 歳 未 満	60 歳 以 上 65 歳 未 満	65 歳 以 上 70 歳 未 満	70 歳 以 上 75 歳 未 満	75 歳 以 上	計	最高	最低	平均 年 齢
	男性	1	0	4	4	9	7	5	14	44	88 歳	27 歳
女性	0	0	0	2	1	9	3	34	49	95 歳	51 歳	77.6 歳
計	1	0	4	6	10	16	8	48	93	総平均 年 齢		72.7 歳
割合(%)	1.1	0	4.3	6.5	10.8	17.2	8.6	51.6	100			

障がい・男女程度別調査

(H28. 3. 31 現在)

障がい別	程 度	男 性 (人)	女 性 (人)	計 (人)
身 体 障 が い	重 度	1	1	2
	中 度	4	1	5
	軽 度	0	1	1
知 的 障 が い	重 度	3	12	15
	中 度	3	4	7
	軽 度	1	0	1
重 複 障 が い	重 度	2	11	13
	中 度	5	3	8
	軽 度	3	1	4
精 神 障 が い	重 度	4	3	7
	中 度	8	6	14
	軽 度	4	2	6
そ の 他	中 度	1	0	1
	軽 度	5	4	9
合 計 (人)		44	49	93

※ 従来の合併障がいという分類を（精神障がいの重複を含め）重複障がいとする。

（重度障がい 37 名、中度障がい 35 名、軽度障がい 21 名）

（身体障がい 8 名、知的障がい 23 名、重複障がい 25 名、精神障がい 27 名、その他 10 名）

障がい別調査

(H28. 3. 31 現在)

病 名 性 別	身 体 障 が い		知 的 障 が い	精 神 障 が い	重 複	そ の 他	計 (人)
	視 覚	肢 体 不 自 由					
男性	2	3	7	16	10	6	44
女性	0	3	16	11	15	4	49
計 (人)	2	6	23	27	25	10	93
割合(%)	2.2	6.5	24.7	29.0	26.9	10.8	100

障がい者手帳保持者の状況

(H28. 3. 31 現在)

身体障がい者手帳	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計 14名
	5	4	2	2	0	1	
療育手帳	A 8		B 10		B 2		計 20名
精神障がい者保健福祉手帳	1級 7		2級 17		3級 2		計 26名

年金の受給状況

(H28. 3. 31 現在)

種別	障がい基礎年金	老齢基礎年金	障がい厚生年金	老齢厚生年金	基礎厚生年金	企業年金	その他	計
人員	45	6	0	13	9	8	1	82

利用者の親族等の状況

(H28. 3. 31 現在)

1	2	3	4	5	6	7	8	計
配偶者あり	親あり	子供養子を含むあり	兄弟姉妹あり	1～4以外の親族あり	知人のみ	身寄りなし	不明	(人)
2	4	20	75	16	3	3	0	123

出身世帯との連携状況

(平成 27 年度)

項目	回数					計 (人)
	年 0 回	年 1 回	年 2 回 ～ 5 回	年 6 回 ～ 11 回	年 12 回 以 上	
出身世帯の面会状況	71	14	7	1	0	93
出身世帯への状況報告	56	17	20	0	0	93
出身世帯からの通信	51	24	11	7	0	93
外泊の状況	88	2	3	0	0	93

疾病別調査（重複含む）

（H27.4.1～H28.3.31）

内 科	人数	精 神 科	人数	そ の 他	人数
高血圧＋その他	28	統 合 失 調 症	11	皮 膚 科	48
糖尿病＋その他	12	興 奮 性 知 的	3	眼科(白内障含む)	43
消 化 器 疾 患	47	て ん かん	7	泌 尿 器 科	15
心 疾 患	7	知 的 障 が い	41	外 科 及 び 整 形	24
高 脂 血 症	24	認 知 症	15	耳 鼻 科	15
呼 吸 器 疾 患	19			脳 外 科	13
そ の 他	22	そ の 他	29	そ の 他	32

入院状況（医療機関の変更や重複者も含む）

（H28 年度）

内 科	外 科	整形外科	精神科	脳外科	眼 科	泌尿科	肛門科	耳鼻科	循環器科	呼吸器科	乳腺外科
14	1	0	5	3	0	1	0	1	2	0	0

日常生活調査（ADL状況より）

（H28.3.31 現在）

区分	歩行			食事			入浴			着衣			排泄										
	自力歩行	杖等の歩行補助器使用	車椅子使用	歩行不能	自分で可能	一部介助	全面介助	自分で可能	一部介助	全面介助	自分で可能	一部介助	全面介助	昼間				夜間			おむつ使用		
														トイレ				おむつ使用	トイレ				
														自分で可能	一部介助	全介助	車椅子使用		自分で可能	一部介助		全介助	車椅子使用
実数(人)	65	14	14	(14)	82	7	4	45	25	23	81	3	9	79	5	9	(14)	32	79	5	9	(9)	32
割合(%)	69.9	15.1	15.1		88.2	7.5	4.3	48.4	26.9	24.7	87.1	3.2	9.7	84.9	5.4	9.7		34.4	84.9	5.4	9.7		34.4

実施機関別人員調 (措置人員)

(H28. 3. 31 現在)

各市別人員				各支庁別人員			
実施機関名	男	女	計	実施機関名	男	女	計
札幌市	18	9	27	後志総合振興局	2	2	4
小樽市	1	3	4	空知総合振興局	1	1	2
旭川市	1	2	4	上川総合振興局	1	2	3
室蘭市	0	1	1	留萌振興局	0	1	1
釧路市	1	0	1	オホーツク総合振興局	0	2	2
北見市	0	2	2	胆振総合振興局	1	1	2
夕張市	1	1	2	日高振興局	0	2	2
岩見沢市	0	2	2	十勝総合振興局	1	3	4
紋別市	1	0	1	根室振興局	0	1	1
美唄市	2	2	4	石狩振興局	1	0	1
三笠市	2	4	6	釧路総合振興局	1	0	1
名寄市	3	6	9				
富良野市	0	1	1				
千歳市	2	0	2				
稚内市	1	0	1				
石狩市	0	1	1				
江別市	1	0	1				
滝川市	2	0	2				
				小計(人)	8	15	23
小計(人)	36	34	70	合計(人)	44	49	93